

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年12月30日

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス/児童発達支援 トイトイト井堀

対象人数(保護者)19人 回答者数 19人 回収 100%

チェック項目		はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		3		お子様に合わせて学習スペースや遊ぶスペースを分けて、引き続き児童が過ごしやすい環境を整えて参ります。
	② 職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	15		4	専門職はどなたがいらっしゃいますか。	専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)が在籍しており、専門性を活かした支援を提供して参ります。
適切な支援の提供	③ お子様と保護者様の希望が、客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると感じますか?	19				引き続き保護者のニーズに合わせて、個別支援計画書の作成を行って参ります。
	④ 活動プログラムが楽しみのあるものと感じますか?	19				今後ともお子様が楽しめるような活動を考えて参ります。
	⑤ お子様の課題に沿った支援が提供されていると感じますか?	17		2	まだ通い始めたばかりなのでわかりません。	保護者の方に聞き取りした情報から個別支援計画書を作成し、個別支援計画書に沿って支援を行い、情報共有をしっかりと行っていきます。
保護者への説明等	⑥ 支援の内容や利用者負担等について、丁寧な説明がなされていますか?	16	2	1		支援内容や利用負担について、個別支援計画の説明や面談で丁寧にお伝えし、ご理解・ご納得いただけるよう努めております。今後も保護者が安心してご利用できるよう、説明の丁寧さを維持、向上してまいります。
	⑦ 日頃から事業所とご家庭間の情報交換を積極的に行っていると感じますか?	16	1	2		改めて送迎時やモニタリングなどでお子様の情報共有を丁寧に行って参ります。
	⑧ 保護者様に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行えていますか?	16	1	2		保護者の方に寄り添いながら、安心して事業所に通えるようにと努めて参ります。
	⑨ お子様や保護者様からのご要望に適切に対応できていると感じますか?	18		1		お子様や保護者の要望をしっかりと傾聴し、支援に反映できるよう努めて参ります。
	⑩ HUGやLINEなどを使った情報伝達は有効だと感じますか?	19			ログインが毎回入力しないといけないのは面倒です。スムーズにログインできるか、活動の入力が済んだら通知が届くと嬉しいです。	ハグの会社に問い合わせを行い、FaceIDやパスワード保存機能が利用できるとの回答で全体でお伝えしていきます。
	⑪ 個人情報の取り扱いに十分注意していると感じますか?	17		2		個人情報は十分注意して保管しております。
非常時等の対応	⑫ 緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアルを策定し、保護者様に周知・説明されていますか?	15		4		緊急マニュアルや感染マニュアルを作成し、周知・ご説明して参ります。
	⑬ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われていますか?	7		12		定期的に災害に備えた避難訓練を実施しています。お子様が安心して通えるように安全面にも努めて参ります。
満足度	⑭ お子様は通所を楽しみにしていますか?	17		2		楽しんで通ってもらえるようにお子様への関わり方や活動内容を考えて参ります。
	⑮ 事業所の支援に満足していますか。	17		2		お子様や保護者の方が支援に満足してもらえるように密な情報共有や支援内容を考えて参ります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。